

## 令和4年度 主要事業計画

学園の建学の精神のもと、各学校の理念・目標を踏まえた教育研究を強力に推進する。

令和4年度においては、2年目となる第3次中期計画を着実に推進し、教育研究の一層の充実とガバナンスの強化を図る。特に、大学においては現行カリキュラムの検証を踏まえた新カリキュラムの構築、短期大学においてはカリキュラムの改善、高等学校においては新たなコース編成の下での新教育課程の実施を図る。

また、感染症に対応した感染防止対策の徹底とハイブリッド型を含めた適切な教育の実施に努める。

重点的に進める事項は、以下のとおり。

- (1) 教学マネジメントを着実に進め、教育改革を推進するほか、ICTを活用した教育や学生支援の強化を図る。
- (2) 専任教職員の『行動規範』の徹底と教員の研究活動の活性化を図る。
- (3) 卒業生にとって魅力ある学園づくりを含めた学園のブランド強化を図る。
- (4) 高等学校校舎の改修、老朽設備の改修等を計画的に行い、学生・生徒の学修環境の充実に努める。
- (5) 愛知県中小企業家同友会や瑞穂区との連携協力を推進し、全学的な地域・社会貢献の取組みを推進する。

### I 各学校における令和5年度入学学生・生徒の確保等

令和5年度入学の学生・生徒定員

学 校 名	学則入学定員		第3年次 編入学定員	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
愛知みずほ大学大学院	15人	15人		
愛知みずほ大学	130人	130人	10人	10人
愛知みずほ短期大学	120人	120人		
愛知みずほ大学瑞穂高等学校	480人	480人		
計	745人	745人	10人	10人

- (1) 戦略的な広報及び学生・生徒募集活動を行い、定員の確保を図る。
- (2) 従来の広報及び募集活動等を分析し、入学者選抜方法を含めて工夫・改善を図る。

## II 全校的共通事項

- (1) 第3次中期計画の着実な実施
- (2) 高大連携の促進及び高等学校と大学・短期大学間の教育連携の充実
- (3) キャリアセンターの全学的活用
- (4) 各学校における経費全般の縮減
- (5) 三連動地震（東海・東南海・南海連動型地震）対策の強化
- (6) 公開講座等地域貢献活動の実施

## III 各学校の取組事項

### 1. 高等学校

- (1) 新教育課程の着実な実施
- (2) ICT教育の推進
- (3) 入試日程変更等に対応した生徒募集活動の実施
- (4) 愛知みずほ大学及び愛知みずほ短期大学との連携の強化
- (5) 進路実績向上に向けた取組の充実
- (6) 感染症に留意した安全・安心な教育活動の実施
- (7) 生徒把握の強化と生徒支援の充実

### 2. 大学・短期大学

- (1) 教学改革
  - ① 3ポリシーの点検・評価とその具現化
    - 【大学・短期大学共通（以下「共通」）】
      - ・達成度の可視化による現行カリキュラムの検証
    - 【大学】
      - ・3ポリシーの見直しによる新カリキュラムの検討
      - ・教養教育の充実
    - 【短期大学】
      - ・学習到達度調査の結果分析、改善案検討
      - ・PDCAによる検証結果のカリキュラムへの反映
  - ② 教育方法の改善
    - 【大学】
      - ・授業評価アンケートの反映状況の調査
    - 【短期大学】
      - ・時代の要請に応え得る新科目の検証
      - ・パソコンの活用

(2) 研究力強化

① 学園紀要構成の点検・評価

【共通】

- ・ 紀要の点検・評価と教員の研究活動の啓発

② 教員の研究力及び学生の探求力の向上

【共通】

- ・ 奨励研究の推進
- ・ 学生の探求力の達成目標の検討
- ・ 学生の探求力の評価と向上させるための体制づくり

(3) 就職支援

○ 就職支援体制の見直し

【共通】

- ・ 外部評価体制の構築と定期化の確立
- ・ 企業の求める人材の把握（アンケートと外部評価）と教育へのフィードバック

(4) キャリア教育

○ 正課外教育の体系化

【共通】

- ・ 社会人基礎力向上に向けての検討
- ・ 「PROG」の活用

(5) 入学定員の確保

① 個別選抜の適正化

【共通】

- ・ 入学選抜区分と卒業時GPAとの関連性の実施と評価
- ・ 学生募集の効果検証と戦略策定

② 広報活動の有効化

- ・ 学生広報スタッフの活用

(6) 魅力ある学園づくり

○ 卒業生と在校生の相互支援

【共通】

- ・ メンター制の在り方の検討

(7) 産学官連携による学生のための実践教育

○ 共同企画による学生の社会における実践力の向上

【共通】

- ・ 外部評価体制の構築と定期化の確立
- ・ 現状の見直しと対策

(8) 評価のフィードバック

- 各種アンケートの改善
  - 【共通】
    - ・ 実施及び評価、分析、報告
- (9) 地域貢献・社会貢献
  - 「健」に基づく活動による地域・社会への貢献
    - 【大学】
      - ・ 短期大学との合同企画及び独自企画の検討
    - 【短期大学】
      - ・ 親子広場の開設
- (10) 高大連携
  - 大学・短期大学教育の公開、出前授業の充実
    - 【共通】
      - ・ 継続企画の充実と新企画の検討
- (11) 教職課程
  - 教職課程における自己評価制度の検討
    - 【共通】
      - ・ 教職教養科目、ICT科目などの充実

### 3. 大学院

- (1) 大学院カリキュラムの見直し
- (2) 大学院における研究倫理教育及びコンプライアンス教育の充実

## IV 教育研究施設・設備等の充実

- (1) 高等学校本校舎、北校舎のトイレ改修等
- (2) 空調機、換気扇、照明器具の取替え〔第Ⅱ期〕(高等学校)
- (3) 大学・短期大学2号館(高等学校西体育館を含む)改修の検討
- (4) 情報基盤の整備(大学・短期大学・高等学校)